

Alan Gilbert
Music Director

NEW YORK
PHILHARMONIC

CREDIT SUISSE

Global Sponsor

NEW YORK PHILHARMONIC

ニューヨーク・フィルハーモニック

黄金のニューヨーク・フィル・サウンドに
吹き込む新しき風!
若き新音楽監督と名門オーケストラが築く、
輝かしき第一歩を聴く。

2009年 サントリーホール

S¥29,000 A¥25,000 B¥20,000 C¥14,000
D¥9,000 プラチナ券¥35,000

10/8(木) 7時

Thursday, October 8, 2009 at 7p.m. Suntory Hall

リンドベレイ: EXPO
Lindberg (2009年 ニューヨーク・フィルハーモニック委嘱作品)
(New York Philharmonic Commission 2009)

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op.58
Beethoven Piano Concerto No.4 in G major op.58
ピアノ:エマニュエル・アックス
Emanuel Ax, Piano

マーラー: 交響曲第1番 二長調「巨人」
Mahler Symphony No.1 in D major

10/9(金) 7時

Friday, October 9, 2009 at 7p.m. Suntory Hall

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
Brahms Violin Concerto in D major op.77

ヴァイオリン:フランク・ペーター・ツィンマーマン
Frank Peter Zimmermann, Violin

ベルリオーズ: 幻想交響曲 op.14
Berlioz Symphonie fantastique op.14

10/10(土) 6時

Saturday, October 10, 2009 at 6p.m. Suntory Hall

バーバー: 弦楽のためのアダージョ
Barber Adagio for Strings

モーツァルト: 交響曲第41番 八長調 K.551「ジュピター」
Mozart Symphony No.41 in C major K.551 "Jupiter"

ベートーヴェン: 交響曲第7番 イ長調 op.92
Beethoven Symphony No.7 in A major op.92



指揮: アラン・ギルバート ALAN GILBERT, Music Director

ピアノ: エマニュエル・アックス EMANUEL AX, Piano

ヴァイオリン: フランク・ペーター・ツィンマーマン FRANK PETER ZIMMERMANN, Violin

KAJIMOTO

WORLD
ORCHESTRAS
SERIES
2009

協賛: CREDIT SUISSE
Global Sponsor

三井物産

UNISYS

アサヒビール株式会社

主催: KAJIMOTO 後援: アメリカ合衆国大使館 協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

Hooray! At last!

アラン・ギルバートのニューヨーク・フィルハーモニック音楽監督就任が決まった翌日、ニューヨーク・タイムズ紙はそのニュースを『やった!遂に!(Hooray! At last!)』との書き出しで伝えた。名門フィルハーモニックが、(当時)40歳になったばかりの若き才能を選んだことに対する、喜びと興奮にあふれた声だった。かつて音楽監督を務めたレナード・バーンスタインは、フィルハーモニック初の米国生まれ米国育ちの音楽監督であったことは有名な話だ。ギルバートはアメリカ人であるに加え、初のニューヨーク生まれの音楽監督になるということで、ニューヨーカーの誇りをさらに擽った。しかし何よりも、2001年にフィルハーモニックにデビューして以来、ニューヨークでもその存在を着々と高めてきたギルバートのフレッシュな音楽性と手腕に、今ニューヨークは大いなる期待を寄せている。

ギルバート時代が本格始動するのは、2009-10年シーズンの初日となる9月12日、本拠地ニューヨークで行われるオープニング・ナイト・ガラ演奏会からである。この日の演奏は、フィンランドの作曲家マグヌス・リンドベルイにフィルハーモニックが委嘱した新作の世界初演で始められる。リンドベルイは、ギルバートのイニシアティブで始められる作曲家とオケのコラボレーション・プログラム、コンポーザー・イン・レジデンスに迎えられる作曲家の第一号である。そんな作曲家の新作をオープニングの頭に持つところ、ギルバートの新たな風を吹き込もうとする意欲が伺えるようで、とても興味深い。

日本ツアーは、ギルバートが音楽監督に正式就任してから僅か1ヶ月弱しか経っていない、10月上旬に行われる。日本でも、リンドベルイの新作の他、オープニング週間中に取り上げられる作品が多く演奏

ニューヨーク・フィルハーモニック / NEW YORK PHILHARMONIC

1842年に創立され、アメリカ合衆国最古の、また、世界でも指折りの長い歴史を誇るシンフォニー・オーケストラとして、アメリカ音楽界の中心的役割を果たしてきた。ドヴォルザークの交響曲「新世界」、ガーシュイン「パリのアメリカ人」の世界初演を手がけるなど、その時代の新しい音楽を擁護し、取り上げている。2009/2010年シーズンからアラン・ギルバートを音楽監督に迎えるが、これまで、マーラー、トスカニーニ、ブレーズ、バーンスタイン、マゼールなど、20世紀を代表する巨匠たちが歴代の音楽監督に名を連ねている。

1967年ニューヨーク生まれ。両親ともニューヨーク・フィルの奏者。カーティス音楽院やジュリアード音楽院で指揮を学びジュネーブ国際コンクール優勝。クリーヴランド管の副指揮者を務めた後、2001年ロイヤル・ストックホルム・フィルの首席指揮者&アーティストック・アドバイザー、2004年からハンブルク北ドイツ放送響の首席客演指揮者を務め、数々の欧米の一流オーケストラにも客演している。マゼールの後を継ぎ2009年シーズンからニューヨーク・フィルの次期音楽監督に任命された。



- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。